

# なかがわ 議会だより

No 118

2016.10

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



9月22日 パンケ山登山

## 主な 内容

- 第3回 定例会〔一般質問 1氏〕
- 8月20日から31日の大雨・暴風による被害状況
- 議会広報研修会
- 議会日誌 ● 編集後記

# ◆第3回定例会◆

平成28年第3回定例会は9月14日招集され、会期を1日と決し、1議員の一般質問、報告2件、承認1件、条例2件、予算4件、認定6件、会議規則4件、意見書1件、決議1件を決議し、認定6件は決算審査特別委員会に付託され、閉会しました。



第3回定例会の様子

## 議案審議結果

### 【報告事項】

▼平成27年度中川町健全化判断比率の報告 **【報告済】**  
早期健全化基準等に該当せず。

▼平成27年度中川町資金不足比率の報告 **【報告済】**  
経営健全化基準等に該当せず。

### 【承認】

▼専決処分の承認を求めることについて（平成28年度中川町一般会計予算補正）  
歳入歳出総額に、それぞれ207万7千円を追加し、予算総額をそれぞれ40億5252万9千円とする。

### 【原案承認】

主な補正内容は、パークゴルフ場芝回復作業委託料、作業手数料の追加。



冠水したパークゴルフ場

### 【条例】

▼中川町税条例の一部を改正する条例 **【原案可決】**  
この条例は、平成29年1月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は各号に定める日から施行する。

(1) 第47条の2第1項及び第47条の5第1項…平成28年10月1日

(2) 第34条の4…平成29年4月1日

(3) 附則第6条…平成30年1月1日

▼中川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例（平成27年12月24日条例第34号）の一部を改正する条例 **【原案可決】**  
この条例は、所得税法等の改正する法律（平成28年法律第15号）附則第1条第5号に掲げる規定の日から施行する。

### 【原案可決】

主な補正内容は森林環境保全整備事業、商工業振興条例補助金、共和志文内川線落石防護委託料などの追加。誉32線本線補償金などの減額。

▼平成28年度中川町国民健康保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ2850万2千円を追加し、予算総額をそれぞれ2億5478万4千円とする。

### 【原案可決】

主な補正内容は療養給付費、高額療養費などの追加。

▼平成28年度中川町介護保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ80万4千円を追加し、予算総額をそれぞれ2億816万4千円とする。

### 【原案可決】

主な補正内容は介護保険システム社会保障・番号制度改修委託料などの追加。

▼平成28年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額から、それぞれ1274万2千円を減額し、予算総額をそれぞれ1億2733万3千円とする。

### 【原案可決】

【予算】  
▼平成28年度中川町一般会計予算補正  
■歳入歳出総額に、それぞれ3055万2千円を追加し、予算総額をそれぞれ40億8308万1千円とする。

主な補正内容は水道管移設補償工事請負費などの減額。

【認定】

▼平成27年度中川町一般会計歳入歳出決算認定

▼平成27年度中川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

▼平成27年度中川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

▼平成27年度中川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

▼平成27年度中川町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

▼平成27年度中川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

■いずれも決算審査特別委員会へ付託・11月30日までに審査終了。

決算審査特別委員会

委員長 鎌塚 一成  
副委員長 小川 鉄吉

【会議規則に伴うもの】

▼閉会中の継続審査の申し出  
(総務常任委員会)

■事件

- 1 子育て支援施策について
- 2 防災体制の確立について
- 3 総務常任委員会に関わる施策について

■期限

平成28年第4回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続審査の申し出  
(経済常任委員会)

■事件

- 1 産業振興対策の現況と今後の展開について
- 2 公共施設の今後のあり方について

■期限

平成28年第4回定例会まで。

【継続調査決定】

▼閉会中の継続審査の申し出  
(議会運営委員会)

■事件

- 1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限

平成28年第4回定例会まで。

【継続調査決定】

▼上川町議会議員研修会、  
中川町議会調査

【議員派遣決定】

【意見書】

▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

■地方自治法第99条の規定に基づき、衆参両議院議長、内閣総理大臣及び関係各大臣に送付。

※意見書は3〜4ページに掲載

【決議】

▼JR北海道に公共交通機関としての使命を果たすことを求め、共に道北地域の創生を目指す決議

■会議規則第14条第2項の規定に基づき、決議を提出。

※決議文は4ページに掲載



## 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環利用を進める必要がある。

また、森林の整備を進め、木材を積極的に利用して林業・木材産業の成長産業化を図ることは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

このような中、各自治体では、森林の公益的機能の維持増進や森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や次世代林業基盤づくり交付金等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備など、さまざまな取り組みを進めてきたところである。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、こうした取り組みをさらに加速し、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

※『林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書』は次ページに続きます。

## 記

- 1 「森林環境税（仮称）」等を早期に創設し、森林の整備や木質バイオマスの有効利用など、森林吸収源対策を推進すること。
- 2 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 3 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年9月14日

北海道中川郡中川町議会議長 佐藤輝雄

## JR北海道に公共交通機関としての使命を果たすことを求め、 共に道北地域の創生を目指す決議

北海道、とりわけ道北に住む地域住民にとって、JR北海道の宗谷本線は自らが暮らすまちと、それぞれの都市を結ぶ大切な公共交通機関である事は論を待たないところです。

そのような中、JR北海道は鉄道事業の大幅見直しの方針を打ち出し、地元自治体との協議を始める考えを示しました。その理由として経営環境の悪化の改善が挙げられています。我々も、決してJR北海道の経営改善に反対するものではありません。

しかし、今回JR北海道が打ち出した経営改善策は、鉄道事業の規模縮小という手段で経営改善をしていこうという、縮小再生産的な手法としか思われません。JR北海道の経営は非常に厳しい事は理解していますが、同様に北海道、道内市町村も厳しい財政状況のなか、何とか知恵を絞って北海道の活性化、地域の活性化に取り組んでいます。

道北地域では国鉄の民営化に伴って天北線、名寄線、深名線の廃止を受け入れました。確かにバス事業への経営転換によれば、経営効率が上がる事は容易に試算、想定できる事です。しかし、上記の長大三線の廃止によって、転換バスの本数は増え、見かけ上は沿線住民にとって利便性が改善されたにもかかわらず、沿線地域のその後の著しい衰退を見れば、鉄道事業が単なる経営効率以上の大きな影響を地域に与えている事を、われわれ道北に住む地域住民は身をもって学んできました。JR北海道は国の基本方針である、地方の創生の理念と相反する経営規模縮小という手法を採るのではなく、いずれも財政難の団体である事を踏まえた上でも北海道、関係市町村、JR北海道の三者が中核となり、国、関係団体、地域住民の協力や知恵を借り、道北地域の活性化を図る事が、JR北海道の使命であり、ひいては道北地域の創生に繋がると考えます。

JR北海道におかれましては、今までにも増して、道北地域における主要交通機関の主役を担う使命を果たしていただき、共に地域の活性化に取り組んでいただきますよう強く要望するものです。

本町議会といたしましても、JR北海道はもとより、国や道及び町、関係団体や地域住民の皆さんと協力し、一致団結し、地域の活性化のため行動します。

以上、決議する。

平成28年9月14日

北海道中川郡中川町議会



# 8月20日～31日の大雨・暴風による被害状況報告

## 8月20日～22日の

### 台風11号・9号

8月20日夜から22日未明にかけて天塩川水位が上昇し、パークゴルフ場が冠水しました。

## 8月30日～31日の台風10号

強風により倒木や施設看板の倒壊などの被害が起きました。

この間、台風10号の通過に伴う本町における大雨、洪水、暴風等の警報は発令されていません。

### ●リバーサイドパーク被害

**状況** パークゴルフ場回復作業（芝

洗浄、除菌、殺菌）

スタート台埋込設置作業

**種別** 冠水被害

**原因** 天塩川の水位上昇

**費用** 芝回復作業 182万6千円

スタート台埋込設置作業

25万1千円

■8月24日付け専決予算にて対応。

**供用開始**

C・Dコース：9月7日

A・Bコース：9月9日

### ●町道被害

**種別** 暴風被害

**原因** 台風10号

**費用** 倒木処理作業

74万9千円

■災害対策費現行予算及び予備費充用による緊急対応。

**対応状況**

①～⑨：8月30日～9月2日

にかけて対応済み。

⑩～⑪：8月30日に対応済み。



中川町環状線	倒木による歩道通行障害	北大学生宿舍地先	①
		ポンピラアクアリズイング地先	②
国府相馬1号線	倒木による道路排水路の阻害	字国府	③
国府松田1号線	倒木による道路排水路の阻害	字国府	④
	倒木による車道部通行障害	字国府	⑤
歌内国府本線	倒木による道路排水路の阻害	椿本地先	⑥
歌内ピラウトル線	倒木による車道部通行障害	字歌内	⑦
大富開拓線	倒木による車道部通行障害	字大富	⑧
職員住宅用地内	倒木	2区職員住宅地先	⑨
トヨマナイ線	倒木による車道部通行障害	加工センター奥 2ヶ所	⑩
サッコタン線	倒木による車道部通行障害	字佐久	⑪

### ●教育施設被害

**状況** 中央小学校木製看板倒壊

**種別** 暴風被害

**原因** 台風10号

**費用** 木製看板修繕工事 25万円

■9月14日災害対策費予算補正提案。

**状況** エコミュージアムセンター木製看板倒壊

**原因** 台風10号

**費用** 木製看板修繕工事

35万1千円

■9月14日災害対策費予算補正提案。

### ●公営住宅施設被害

**状況** こまどり団地1・2・3号棟

車庫屋根破損

中央第2団地特公賃車庫屋根

破損

**種別** 暴風被害

**原因** 台風10号

**費用** 車庫修繕工事

187万2千円

■9月14日災害対策費予算補正提案。



# なかがわの鼓動



9月4日 第48回中川町スポーツ少年団  
創立記念剣道大会



9月8日 敬老会



9月17日 「イベント体験・見学ツアー」交流会



9月18日 第28回北海道丸太押し相撲大会



9月18日 第34回なかがわ秋味まつり



9月25日 中川中学校第69回学校祭

# 議会広報研修会に参加して

平成28年8月23日、札幌市で開催された議会広報研修会に参加してまいりました。内容としましては、議会広報サポーターをされている芳野政明氏の講演、各町村議会が実際に発行している議会広報を基に良い点、改善点を具体的に説明するものでした。

講演では議会広報の目的や議会のあり方について話され、特に「住民に見える議会」「住民の意見を聴く議会」という開かれた議会において広報は重要なコンテンツであることを再認識しました。

また、今回例として挙げられている各広報も、それぞれ個性と情熱を感じられるものばかりでした。

今回の研修を受け、改めて町民の皆様が手に取って見やすい、読みやすい、わかりやすい広報とは何かを考え、内容についても改善していきたいと思えます。

引き続き議会がどんな活動をし、どんな議論をしているのか伝える、伝わるをモットーに広報を作成したいと思います。



## 議会日誌

7月	8月	9月
23日	2日	4日
中川町天塩川フォーラム	中川まつり(4日まで)	第48回中川町スポーツ少年団創立記念剣道大会
24日	3日	23日
第5回天塩川de水切り北海道大会	全道林活議連連絡会 定期総会【札幌市】	第23回「幌加内町新そば祭り」【幌加内町】
25日	6日	25日
宗谷本線活性化推進協議会要望会【札幌市】	北口ゆうこう道議と語る青空の集い【士別市】	上川町村議会議長会【旭川市】
27日	7日	26日
各種期成会夏季合同要望会【東京都】	サンルダム定礎式・祝賀会【下川町】	経済常任委員会所管調査【占冠村・札幌市】(28日まで)
28日	10日	30日
中央望会【東京都】	第12回全員協議会	上川北部市町村議会議長会9月定例会【美深町】
29日	16日	
第11回全員協議会	中川町納涼盆踊り大会	
	22日	
	西天北五町衛生施設組合議会定例会【幌延町】	
	23日	
	議会広報研修会【札幌市】	
	26日	
	第13回全員協議会	
	29日	
	第5回総務常任委員会	
	第4回経済常任委員会	

## 編集後記

今年も多く自然災害が発生し、北海道にも大きな被害をもたらしました。特に農作物の被害は、主要な野菜の値上がりにより私たちの生活にも影響が出ています。また被害にあわれた方に謹んでお見舞い申し上げます。

さて、武道の世界の言葉で「守破離」という言葉があります。ちなみに中川商業高校剣道部の面タオルにも使われていたものです。初めは師の教えを「守」り、その後自分に合ったものを取り入れ師の教えを時に「破」り、最後に自分自身を確立し師から「離」れるということだそうす。

私たちは年齢に関係なく学び続け、時に違う考えを取り入れ、自分の理念、思想を確立する事を繰り返して生きています。

議会議員となり常に「学ぶ」という事が必要であることを改めて感じました。他者の意見に耳を傾け、自らの目で確かめ、この町がより良い町になっていくためにはどうあるべきか考える。その意識を持ち続けていかなければと思います。(大記)

### 議会広報特別委員会

委員長 齊藤俊幸  
委員 今野大樹

